

アーツコミッション・ヨコハマ（ACY）

2023 年度（令和 5 年度）

事業報告書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

令和 6 年 3 月 31 日

## <2023年度（令和5年度）総括>

### ○2023年度 ACY アーティスト・フェローシップ助成

2016年度に「創造都市横浜における若手芸術家育成助成クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ」としてはじまり、制度名称・内容を変更しながらアーティストのキャリア形成を支援するプログラムとして7回目の実施を迎え、今年度から大きく2点を変更しました。「年齢制限の撤廃」、および「横浜市内の拠点での滞在および活動の実施」です。

年齢制限を撤廃したことで、幅広い年齢層からの申請がありました。アーティストにとって、支援を受ける必要があると考えるタイミングが、年齢だけで区別できるわけではないということ認識の結果となり、支援のタイミングについては、助成審査会においても議論的となりました。また、横浜市内の拠点での滞在および活動をすることを活動計画に含んだ申請をいただきました。アーティストの活動場所として、横浜各地の可能性を探る試みとしての変更でしたが、日本各地からの申請があり、影響を強く感じることとなりました。地域に開いたユニークな活動をするコミュニティ拠点に表現を追求するアーティストが入り込み、「(内容が)身近なアート」ではなく、「(関わり方が)身近なアート」が展開されました。

### ○相談事業

横浜でアートに関わる活動をしたい人や、横浜のクリエイターの紹介を希望する企業や行政からの、最初の問い合わせ先になりつつあります。具体的な事例として、横浜マラソン組織委員会事務局から2024年大会のキービジュアルについて相談があり、マッチングを考慮しご紹介した中から、横浜市クリエイターデータベース登録者が担当することになりました。また、横浜市経済局中小企業振興課から「横浜グランドスラム企業表彰」のプロモーション方法について相談があり、予算・スケジュールを鑑みた効果的な方法について、また、クリエイターとの協働方法について助言を行いました。

これまでの積み重ねから中間支援に関する専門的な助言を求める相談が増えています。全国のアーツカウンシルや文化政策を学ぶ学生からのヒアリングを受け、調査に協力しています。

### ○プラットフォーム事業

「ACY フォーラム」では、「子どもの居場所・学び場と文化芸術のまちでの交点」をテーマに据えて実施しました。横浜市、石川県金沢市、長野県上田市、東京都の事例を通じて、子どもの居場所・学び場づくりに地域の文化芸術施設・拠点がどのように関わることができるか考えを深める時間になりました。

「関内外 OPEN!」は、今年度で15回目を迎えました。オープンスタジオや屋内でのトークやワークショップなど、創造的産業に携わる人々の仕事や拠点を一般公開し、新しい交流や関係性を生み出しました。3回目の実施となる「ミナトノアート」は、横浜発の“まちなか”アートフェアとして、「ART in LIFE」をテーマに、多様な作り手と連携しながら体験や交流を通して横浜の“アートの今”と出会う機会を届けました。

また、社会と芸術文化を横断した事業を生み出す多様な人材の発掘と育成のためのプログラム「令和の横浜使節団」を新設しました。横浜の人々が、創造的経済活動に寄与するネットワークを国内各地の人々と構築すべく地都市を訪れ、その地域の取り組みから学ぶ旅をしました。

### ○ACY 感謝祭

令和5年度に実施したACYの事業内容および事業のキーパーソンを広く発信することを目的に、「ACY 感謝祭」を開催しました。第一部では、ACY アーティスト・フェローシップ助成の報告会を主として、横浜郊外での取り組みを紹介しました。第二部は、都心臨海部で展開する事業で協働するクリエイターたちと、これからの横浜クリエイティブの展望をそれぞれの視点から話すトークイベント、第三部では市外に広がるACYの活動紹介と、他都市の事例から横浜を考えるきっかけとなるトークイベントを開催しました。開催時間中はマルシェやパネル展示なども行い、さまざまな方法で楽しめる市民にひらかれたイベントとなりました。

## 【1】2023年度ACYアーティスト・フェローシップ助成

2016年度から続くアーティストのキャリア形成を支援するアーティスト・フェローシップ助成を発展させたプログラムです。今年度は特に大きく変更し、これまでの「資金」「ネットワーク」「広報」支援に加え、「横浜に滞在すること」を取り入れることとしました。

アーティストは、必要な資金やネットワーク、新しい表現や活動の場所の獲得を通して自身のキャリアアップを目指し、またACYは人を惹きつける新たな価値創造を目指して、横浜各地の文化の多層化と複合化に取り組みました。

### ○2023年度ACYアーティスト・フェローシップ助成

応募総数：136件（美術81件、舞台芸術55件）

採択件数：5件

交付総額：5,000,000円（1,000,000円×5名）

募集期間：2023年3月23日（木）～4月26日（水）

審査会：2023年5月27日（土）

活動報告会：2024年3月20日（水・祝）ACY感謝祭内で開催

審査員：天野太郎（東京オペラシティアートギャラリー チーフ・キュレーター）

岡本純子（公益財団法人セゾン文化財団 シニア・プログラム・オフィサー）

野上絹代（振付家・演出家、多摩美術大学美術学部演劇舞踊デザイン学科専任講師）

藤原徹平（フジワラテッペイアーキテクトラボ代表、横浜国立大学大学院Y-GSA准教授）

山峰潤也（キュレーター、株式会社NYAW代表取締役）

### （1）加藤立

#### 本助成で実施した活動

築60年の民家を改修したコミュニティスペースCo-coyaに、9月と11月の2回に分けて滞在。人間の顔面に抽象絵画が取り憑いた『Abstract Face』シリーズをオープンな空間で展示し、作品のコンセプトやストーリーを伝えながら、来場者と密な関係性を築きました。9月の滞在時に出会った地元住民をモデルに作品を制作し、11月にその作品を展示することで、「展示→モデル探し→制作→展示」の循環をつくり、自立的な作品生成のシステムを構築するという新たな試みに挑戦しました。

#### ACYのサポート内容

滞在サポート、展示作業サポート、広報協力

滞在①：2023年9月13日（水）～9月23日（土）

展示①：2023年9月14日（木）～9月23日（土）9:00～18:00

滞在②：2023年11月16日（木）～11月27日（月）

展示②：2023年11月18日（土）～11月26日（日）10:00～18:00 ※20日(月)は休場



**プロフィール：**アーティスト。1979年愛知県生まれ。人間の行為を演劇的に捉え、異化し、パフォーマンスなどで作品化している。広島市現代美術館所蔵の作品『I am a museum』（2019）では、美術館所蔵の絵画を複製し、それを背負って美術館の外に出て、街中で出会った偶然の鑑賞者に絵画を観せるというパフォーマンスを行った。最近の活動に、『絵画の沈黙が聴こえてくる』（ANB TOKYO、2022年）、『鑑賞者』（第24回岡本太郎現代芸術賞、2021年）、『I am a museum』（広島市現代美術館、2019年）など。

加藤さんは、職住一体型地域ステーションCo-coyaの土間で制作・展示を行いました。オープンな空間での活動だったため、子どもから大人まで多くの方が加藤さんの作品を目にすることになり、いつもと少し違う雰囲気になった「身近な場所」に対して、「画廊が来てくれたみたい」と喜ぶ人、「作家と直接話ができるなんて！」と質問がとまらない人、「普段は全然美術をみに行かないけれど面白いかも」と興味をもつ人など様々な反応がありました。

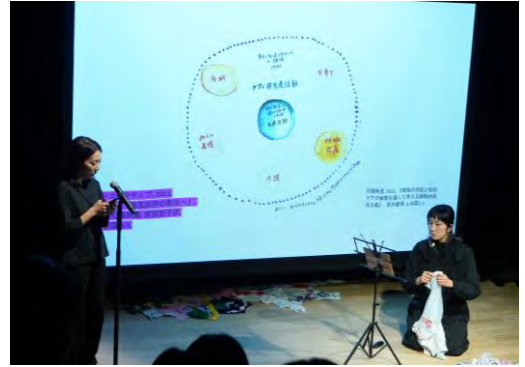
## (2) 坂本 夏海

### 本助成で実施した活動

パフォーマンスアートとマルチメディアアートの新しい拠点Murasaki Penguin Project Totsuka (MPPT) を活動の中心とし、アートプロジェクト『Dismantling Motherhood』を展開。「母」という言葉を解体し、母親業がもつ「他者をケアする能力」をひらくことを目指したこのプロジェクトでは、公募で集まった6名の横浜在住の母親たちと、ワークショップや座談会など、クリエイティブな複数の実践を行い、映像作品を制作しました。

### ACYのサポート内容

ワークショップ運営サポート、アーティスト紹介、滞在サポート、広報協力



滞在：2023年10月7日（土）～10月13日（金）

ワークショップ①：2023年10月07日（土）、8日（日）

ワークショップ②：2024年1月6日（日）、7日（日）

オープンスタジオ&レクチャーパフォーマンス：2024年2月24日（土）、25日（日）

**プロフィール**：アーティスト。Back and Forth Collective メンバー。記憶の継承に埋め込まれたジェンダー役割の政治性を探求する映像インスタレーション作品を展開する。近年はフェミニズムの「周縁」に存在した女性の連帯の歴史調査を軸とした芸術実践を行う。最近の活動に「Song for Solidarity (Waulking Song)」(グラスゴー現代美術センター、2024年)、「When Bodies Whisper」(Timespan、2023年)など。

6名の母親たちと半年間にわたって協働するにあたり、母親が一人で参加できる環境を整えていたことが印象的です。「ワークショップやパフォーマンスの撮影時に、子どもも特別な体験ができる託児を設ける」「ワークショップに参加する際は参加費を徴収するのではなく、謝礼を支払う」など、作品の内容だけでなく、心理的ハードルを下げる運営方法まで緻密に計画を立てていました。自ら、MPPT上階にある保育園や一時保育を行うNPO法人、造形講師と交渉をし、託児を実現するなど、その丁寧な進め方は、アートプロジェクトが行われる場所が安心・安全であることの重要性を気づかせてくれました。

## (3) 私道 かび

### 本助成で実施した活動

左近山団地内ショッピングセンターの店舗を活用したアート拠点左近山アトリエ 131110 に滞在中、約100名の住民から聞き取りをし、その土地に住む人々の過去・現在・未来と左近山の歴史を重ね合わせた24編のテキストを執筆。テキストやコラムを掲載したリーフレットの配布、俳優が朗読した音声の再生、抜粋したテキストを用いた展示と、3通りの方法で体験できる『団地のこえ』を1か月展示し、多くの来場者が思い思いの方法で楽しみました。

### ACYのサポート内容

滞在サポート、展示サポート、広報協力



滞在：2023年11月1日（水）～16日（金）、11月21日（火）～24日（金）

展示：2024年1月7日（日）～2月4日（日）

**プロフィール：**作家、演出家。京都を拠点に活動する団体「安住の地」所属。戯曲の可能性の拡張を目指し「小説を書き、それを基に戯曲を制作する」という手法を用いる。共同脚本・演出での創作も行う。身体感覚をテーマにした戯曲『いきてるみ』で第19回OMS戯曲賞佳作を受賞。脚本・演出作品『アーツ』が第16回せんがわ演劇コンクールにてオーディエンス賞を受賞。国際芸術祭あいちプレイベント「アーツチャレンジ 2022」や「茨城水郡線 奥久慈アートフィールド 2022」等、美術の分野でも作品を発表している。

1月から2月にかけて作品を展示した際には、「作品の感想を伝えたい」「話をしたいのだけど、今日はアトリエにいるの?」と、地元住民から左近山アトリエに連絡がくる様子が何度も見受けられました。団地のなかで暮らしながら、そこで営まれている生活を実際に感じ、住民との交流を通じて聞き取りを行う私道さんの手法は、住民の視点により近づくことができると同時に、信頼関係を築くのに非常に効果的だったように感じます。

#### (4) 山岡 瑞子

##### 本助成で実施した活動：

9月に旧横浜篠原郵便局を活用した文化複合拠点 ARUNŌ -Yokohama Shinohara-にて、ニューヨークを拠点にしていた際に撮影した写真を初めて展示しました。12月には『Maelstrom マエルストロム』の劇場公開にあわせて、黄金町高架下スタジオ Site-A ギャラリーにて個展を開催。映画にも登場する、現在までに制作した作品群を俯瞰できる展示となり、アーティストとしてのキャリアを提示することができました。

##### ACYのサポート内容

会場・人材紹介、滞在サポート、展示作業サポート、広報協力



滞在：2023年9月11日（月）～14日（木）、9月18日（月）～21日（木）

展示①：2023年9月11日（月）～9月21日（木）@ARUNŌ

展示②：2023年12月02日（土）～12月10日（日）@黄金町 Site-A

**プロフィール：**映画作家/アーティスト。1998年渡米。2002年Pratt Institute(NY)卒業直後、事故に遭い帰国。中途障害者・帰国者の立場からの制作方法を模索する。2016年、バルセロナで初短編ドキュメンタリー制作。BankART AIR 2021への参加を経て、初長編ドキュメンタリー映画『Maelstrom(マエルストロム)』(2022)完成。ピッツバーグ大学 Japan Documentary Film Award 2022 受賞。その他、第23回ニッポン・コネクションなど、国内外の映画祭で上映されている。

新横浜滞在中に開催した写真展では、約20年前ニューヨーク滞在中に撮影した写真を再プリントし、展示されました。2002年の事故直前の写真をあらためて展示することは、アーティストとしてのキャリアを再びスタートする強い決意のようなものを感じました。劇場公開と同時期、映画館からほど近い黄金町のギャラリーにて開催した個展では、ニューヨーク時代に制作し、自宅に眠っていたインスタレーションを含む作品群を展示し、それまでの活動を俯瞰して鑑賞できる個展となり、多くの来場者が訪れました。



## (5) ユニ・ホン・シャープ

### 本助成で実施した活動：

アートスタジオ アイムヒアを拠点に、パフォーマンス作品『ENCORE II - Violet』へ新しい視点を得るためのリサーチを中心に活動を展開。多様なコラボレーターをむかえたオープン・リサーチ「横浜をグラグラ歩く会（グラ会）」では、リサーチから得た情報をもとに横浜のまちなかを歩いて巡りました。また、歴史と現代を交差させながら植民地主義的暴力とそのトラウマからの回復について再考する『ENCORE II - Violet』について、YPAM Exchange 内にて紹介を行いました。

### ACY のサポート内容

ワークショップ運営サポート、滞在サポート、広報協力



撮影：渡辺 篤

滞在：2023年11月22日（水）～12月22日（金）

拠点利用：2023年12月4日（月）～12月18日（月）

グラ会①：2023年11月28日（火）

グラ会②：2023年12月10日（日）

発表：2023年12月12日（火） ※YPAM Exchange

グラ会③：2023年12月15日（金）

**プロフィール：**アーティスト。東京都生まれ。現在はフランスと日本を拠点に活動。アーカイブや個人的な記憶から出発し、構築されたアイデンティティの不安定さと多重性、記憶の持続をめぐり、新しい語り方を探りながら、身体／言語／声／振付を通じてその具現化を試みる。最近の作品に、パフォーマンス『ENCORE』、映像インスタレーション『RÉPÈTE』など。2023年度 ACC フェロー。

フィールドワークのグラ会では、関東大震災の被災地や流言のあったエリアなどを、「環状島モデル」\*をもとにトラウマの海と陸地になぞらえて歩きました。横浜の土地を実際に歩くことで、当時の状況を想像する、自身のトラウマ体験と回復の過程が思い起こされるなど、文献調査以上のことを身体で感じたそうです。トラウマの海から陸へあがる（即ち回復へ向かう）ことは、坂道をのぼる時に感じる負荷のかかった足と似ている、どちらも自ら歩みを進めなければいけない、と語っていたのが印象に残っています。

\*宮地尚子『環状島=トラウマの地政学』みすず書房、2007年

## 【2】相談業務

相談件数（2023年4月～2024年3月） 総数 109

内容	件数	相手方	件数
専門協議・助言	47	アート系	40
紹介／マッチング	14	クリエイター系／創造産業系	22
DB登録希望	13	一般企業	14
広報支援	8	行政	22
助成	17	市民団体	2
視察／調査／取材	3	大学	4
情報提供	7	オーナー	0
移転	0	マスコミ	0
その他	0	その他	5
合計	109	合計	109

### 〈具体的なマッチング事例〉

#### ■スカパーJSAT 株式会社

##### 専門協議・助言 紹介・マッチング

スカパーJSAT 株式会社が実施する「文化芸術支援事業」へ専門協議・助言を行いました。アーティストとその活動について紹介する番組制作の際に、過去のアーティスト・フェローより3名選定し、スケジュール調整、制作に資する助言を行いました。創造の担い手が活動しやすい環境づくりを推進するための新しい支援の形につながるものと考え、協働を進めました。



アーティスト：北尾 亘(2021年度アーティスト・フェロー)

下島 礼紗(2022年度アーティスト・フェロー)

渡辺 篤(2016年度、2017年度アーティスト・フェロー)

内容：アーティストのインタビューや制作・稽古の様子、過去の作品映像等を組み合わせ、専門用語を使わずに親しみやすくアーティストの活動や作品を紹介。

#### ■横浜青年会議所 サークュラーエコノミー実践委員会

##### 紹介・マッチング

再生可能エネルギーを活用した光のアートの展開方法について相談がありました。企画内容を伺い、内容や運営方法について、アドバイスを行いました。展示だけではなく、参加者とともになにかつくるというワークショップ形式も提案し、テーマにあったアーティストを紹介しました。令和6年度に企画を実施予定だそうです。

### 【3】プラットフォーム事業

#### 1. ACY フォーラム vol.3 「横浜の暮らしから見える文化とまちづくり」



今年度は「子どもの居場所・学び場と文化芸術のまちでの交点」をテーマに据えました。地方での人の暮らしと文化拠点の距離感や人間関係の築き方は、横浜の郊外部で文化芸術や子どもの支援において新しい視点になりうると考え、地方で具体的な取り組みを行っている方、横浜の郊外部で実践をしてきた方、文化施設の担当者が一堂に会し、これから文化芸術が子どもの居場所・学び場づくりにどのように寄与できるかを語り合いました。

日時：2024年2月2日（金）15:00～17:00

会場：BUKATSUDO HALL

参加費：無料

参加者数：41名

主催：アーツコミッション・ヨコハマ

協力：信州アーツカウンシル（一般財団法人長野県文化振興事業団）

#### 第一部：登壇者事例紹介 60分（15分×4名）

岩室 晶子（NPO法人ミニシティ・プラス事務局長／横浜市）

吉川 永祐（NPO法人みんなのコード Hub div. ミミミラボ コーディネーター／アーティスト／石川県金沢市）

直井 恵（草の根文化芸術コーディネーター／長野県上田市）

八巻 香澄（東京都現代美術館学芸員／東京都）

#### 第二部：ディスカッション 40分（前半は登壇者に事前質問・後半は参加者からの質問も）

第一部登壇者に加えて聞き手

野村 政之（信州アーツカウンシル ゼネラル・コーディネーター）

森 絵里花（横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ）

横浜市、石川県金沢市、長野県上田市、東京都と、まちのスケールも異なる4つの実践を紹介。文化芸術に関わる施設・拠点での活動がもつ「地域の中での居場所」「誰もが参加できる開かれた学びの場」としての機能を、関わった子どもたちの様子からも教えていただきました。後半のディスカッションでは、居場所づくりの際に心がけていることや抱えている課題観を共有し、子どもの居場所・学び場づくりに地域の文化芸術施設・拠点がどのように関わることができるか考えを深める時間になりました。



## 2. 関内外 OPEN!15



撮影：小泉 瑛一

関内外OPEN!15は「創造自由貿易港」と題し、オープスタジオや屋内パヴィリオンでのトークやワークショップなど、創造的産業に携わる人々の仕事や拠点を一般公開し、新しい交流や関係性を生み出しました。

### 開催概要

日時：2023年10月14日（土）、15日（日） 10:00～17:00

会場：旧第一銀行横浜支店、BUKATSUDO、泰生ポーチ フロント、関内さくら通り、PILE、天王町、トキワビル/シンコービル、泰生ビル屋上、black&white、TORULABO Yokohama Bay Studio、黄金町ロックカク、ニューヤンキーノタムロバ

主催：関内外クリエイターズ、アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局

協賛：鹿島建設株式会社、株式会社トラストアーキテクチャ、株式会社ココラボ、株式会社オンデザインパートナーズ、有限会社スタジオニブロール、株式会社エイバンバ

協力：京浜急行電鉄株式会社、Peatix Japan 株式会社、株式会社横浜ビール、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、株式会社もちひこ

後援：ヨコハマ経済新聞

参加者：合計 1158 名

- ・旧第一銀行横浜支店 605名（来場者 539名 クリエイター・スタッフ 66名）
- ・創造自由貿易 455名（来場者 358名 クリエイター・スタッフ 97名）
- ・関係者パーティー 98名

### （1）メイン会場プログラム（会場：旧第一銀行横浜支店）

#### ① 関内外開港ミーティング

創造自由貿易港の開港を宣言するキックオフミーティング。7名の登壇者がそれぞれの活動を紹介したのち、エリアや分野を横断したディスカッションを行いました。15回目を迎えた関内外 OPEN!のキックオフにふさわしく新たなネットワークが生まれるミーティングとなりました。

日時：10月14日（土）10:00～11:30



撮影：松村 レイチェル

登壇者：

- 山野 桂 (黄金町エリアマネジメントセンター マネージャー)  
大越 晴子 (象の鼻テラス チーフ)  
工藤 葵 (横浜ビール PR & Community チーム ブランドマネージャー)  
山室 興作 (六角橋ロッカクパッチ オーナー)  
秋元 康幸 (BankART 1929 副代表)  
岡田 勇人 (YPAM 事務局 フリンジマネージャー)  
安食 真 (スタジオニブロール クリエイティブディレクター／関内外 OPEN! 幹事)  
小泉 瑛一 (about your city／関内外 OPEN! 幹事／モデレーター)

## ② ヨコハマまちづくりオープンセッション with 関内まちづくり振興会まちづくり委員会

関内まちづくり振興会 まちづくり委員会とクリエイターが、民間の力でよりオープンな関内の未来をつくるためのアイデアを交換しました。ウォークアブルなまちを目指す関内でどんなことができるか、多様なクリエイターが、わくわくするようなアイデアを発表し、参加者も含めて、まちの未来を考える機会となりました。



撮影：小泉 瑛一

日時：10月14日(土) 14:00~15:30

登壇者：

- 中谷 忠宏 (関内まちづくり振興会まちづくり委員会／株式会社旭広告社代表取締役社長)  
森川 正信 (関内イノベーションイニシアティブ株式会社 クリエイティブディレクター)  
若林 拓哉 (株式会社ウミネコアキ代表取締役・建築家)  
中村 遥 (株式会社オンデザインパートナーズ・建築家)  
三浦 詩乃 (一般社団法人 Street Life Makers 代表理事・研究者)  
小泉 瑛一 (about your city／関内外 OPEN! 幹事／モデレーター)

## ③ 創造準備体操 (朝ヨガ)

MINATOMIRAI YOGA による特別な朝ヨガ。横浜市認定歴史的建造物の旧第一銀行横浜支店の非日常的な空間で、心身ともに整える時間となりました。

日時：10月15日(日) 8:15~9:15

企画したクリエイター：

MINATOMIRAI YOGA (otonomori)



撮影：小泉 瑛一

## ④ ビジネスパーソンとクリエイターの Power Brunch

クリエイターとビジネスパーソンの出会いと創造の場として、コーヒーと軽食とともにワークショップを実施しました。会場に設置したアートテーブルを中心に「アートテーブルをビジネスにするには？」などの話題から始まり、朝だからこそその交流を生むことができました。

日時：10月15日(日) 10:00~11:30

企画したクリエイター：

畑 洋一郎 (Peatix コミュニティパートナーシップ シニアマネージャー)

安食 真 (スタジオニブロール クリエイティブディレクター／関内外 OPEN! 幹事)



撮影：工藤 葵

## ⑤ 発想発酵！アイデアコンポスト

5名の登壇者が、考えたけど、捨ててしまったアイデアを発表し、その場にいる参加者が自由に付け足したり、感想をシェアしたりして、アイデアを発酵させていきました。

日時：10月15日（日）14:00～16:00

登壇者：

イクタケマコト（イラストレーター）

品川 優（株式会社 An-Nahal 代表取締役社長）

三浦 佑介（design office shubidua）

鈴木 希悠（東京都市大学建築学科学生）

桂 有生（横浜市都市デザイン室）



撮影：松村 レイチェル

## ⑥ 会場パヴィリオン

パプアニューギニアの島々で行われる、装飾物を交換するために人が島々を移動する原始的な交易「クラ」から着想を得たパヴィリオンを設置。旧第一銀行横浜支店だけでなく、創造自由貿易の会場にも同様の素材で作られたものを展示し、イベント終了後はバッグへとアップサイクルされました。

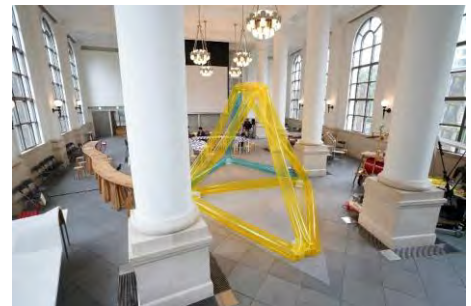
展示日時：10月14日（土）、15日（日）10:00～17:00

企画したクリエイター：

田中 麻未也（アマミヤデザイン）

原崎 寛明（CHA）

村上 翔（SCALA Design Engineers）



撮影：小泉 瑛一

## ⑦ パブリックアートテーブル

BankART1929 と連携し、会場内にパブリックアートテーブルを展示しました。ちょっと変わったテーブルのまわりでは、多様な人々の交流が生まれていました。

参加したアーティスト：

アトリエ・ワン+東京工業大学塚本研究室、SPACSPACE、野老 朝雄、西原 尚、下寺 孝典（TAIYA）、ワークステーション+武蔵野美術大学建築学科高橋スタジオ、甲斐 貴大/studio arche、矢内原 充志+佐藤 邦彦、磯崎 道佳、多田 正治アトリエ

主催：BankART1929



撮影：松村 レイチェル

## (4) 創造自由貿易

### ① 助六寿司とは？

江戸時代から庶民に親しまれてきたお稲荷さんと海苔巻きとのセットである助六寿司。横浜元町三郎寿司の田口竜太郎氏の解説と指導のもと、参加者が実際に作って味わいました。普段何気なく接している助六寿司やお寿司について深掘りしていくワークショップとなりました。

日時：10月14日（土）①13:30～ ②15:00～ ③16:30～

会場：BUKATSUDO

企画したクリエイター：

田口 竜太郎（ミナトノアート実行委員会／横浜元町三郎寿司）

有馬 さやか（BUKATSUDO）



撮影：工藤 葵



## ② OPEN! MY BOOK

「横浜と台湾のフリーペーパーにまつわるトーク」と、「ZINEをつくる学生たちのトーク」、2つのトークセッションを開催しました。また、ZINEを実際につくるワークショップも開催し、さまざまなジャンルがクロスオーバーして、本にまつわる価値観をひらくようなプログラムとなりました。

日時：10月14日（土）トーク①13:00～、トーク②15:00～  
ワークショップ 13:00～17:00

会場：泰生ポーチフロント

企画したクリエイター：

下町編集室 OKASHI、自費出版文化研究会、台湾デザインニュース、LOCAL GOOD YOKOHAMA



撮影：松村 レイチェル

## ③ あなただからこそそのコーヒーミュージック

ほっと一息つけるコーヒーを準備する間に、横浜を拠点に活動している2組のミュージシャン（菅野翔太・あおしぐれ）が、来場者との対話から即興で音楽を作曲し、披露をしました。関内さくら通りが、優しい音色の音楽とコーヒーの香りに満たされ、心あたたまる空間となりました。

日時：10月14日（土）12:00～16:00

会場：関内さくら通り（さくら通り OPEN!!内）

企画したクリエイター：

瀧脇 信（からこそ BOX）

菅野 翔太（シンガーソングライター）、

あおしぐれ（高貝 紗希、見谷 優唯）



撮影：工藤 葵

## ④ 天王町～星川歴史まち歩きツアー

東海道四番目の宿場町として栄えた天王町と星川エリア。昔ながらの商店街や個人商店も残りつつ、新たな開発もはじまったこのエリアを創作対象としてとらえる「まち歩きツアー」を開催。歴史研究を行うガイドの方も同行し、まちの新たな見方を得る機会となりました。

日時：10月14日（土）12:00～13:30

会場：天王町周辺

企画したクリエイター：

津田 賀央（PILE -A collaborative studio-）

ほどがや市民活動センター アワーズ



撮影：松村 レイチェル

## ⑤ WORK IN PROGRESS 見学会

創作スタジオ「PILE」で、11月から始まる展覧会に向けて制作を進めているアーティストの制作風景を覗きながら、アーティストと自由に交流ができる見学会を実施しました。地元住民や PILE に興味がある方など、多様な方が来場し、多くの交流が生まれました。

日時：10月14日（土）13:30～16:00

会場：PILE

企画したクリエイター：

津田 賀央（PILE -A collaborative studio-）



撮影：松村 レイチェル

## ⑥ オープンスタジオツアー

築 65 年の常盤不動産ビルに入居するクリエイターの拠点を巡るツアーを開催しました。建築スタジオやデザイン事務所など、多様なクリエイターの仕事に触れることができ、横浜に集積してきたクリエイターたちの顔が見えるツアーとなりました。

日時：10月14日（土）13:00～17:00

会場：常盤不動産ビル

企画したクリエイター：

岡部 正弘（voids）、原崎 博明（CHA）

参加したクリエイター：

merino、utopiano、CHA、北林さなえ建築設計事務所、アマミヤデザイン、SCALA Design Engineers、voids、モ・クシュラ株式会社、株式会社クラフトワークス、Art Connect Yokohama、株式会社櫻井計画工房、有限会社悦計画室、NPO 法人横浜ジェントルタウン倶楽部、阿部工房×北杜學舎、株式会社アトリエ・モバイル、NPO 法人有形デザイン機構、前田篤伸建築都市設計事務所



撮影：工藤 葵

## ⑦ 屋上の気持ち

何も無いはずの「屋上」の心地よさを紹介。道路にいるより空が広く感じ、開放感がある屋上で、一人一人の想いや感情を記録し、その場に残していきました。訪れた方が思い思いの感情を生み出せるよう、居心地のよい空間を演出し、誰もが憩える場所を創出しました。

日時：10月14日（土）13:00～17:00

会場：泰生ビル屋上

企画したクリエイター：

松井 勇介（ondesign）、清水 麻衣（CO-valley）

西田 晃大（ondesign）、安原 樹（ondesign）



撮影：工藤 葵

## ⑧ クリエイターと道具展

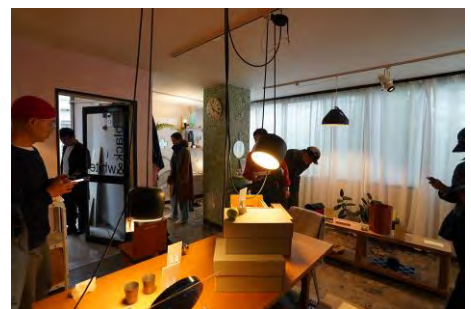
横浜市内で活動するクリエイターを中心に、彼らが考案した道具や、愛用する道具を展示・販売を行いました。クリエイターたちのこだわりの道具に実際にふれることのできる貴重な機会となりました。

日時：10月14日（土）、15日（日）12:00～18:00

会場：black&white

企画したクリエイター：

福泉 寛史（black&white）



撮影：小泉 瑛一

## ⑨ みえないけどいる

### -touch the ghost skin- for Kids and Everybody

鑑賞と体験を同時に味わえるような、身体と映像によるインスタレーション作品の展示とダンスパフォーマンスを実施しました。ワークショップの時間では、多くの子どもたちがダンサーに誘導され身体表現を楽しみ、笑顔があふれる空間になりました。

日時：10月15日（日）展示 13:00～17:00、

ワークショップ①13:00～、②15:30～

会場：旧第一銀行横浜支店



撮影：工藤 葵



企画したクリエイター：  
中屋敷 南（みんなのコンテンポラリーダンス）

参加したクリエイター：  
齋木 穂乃香（アシスタントダンサー）、中瀬 俊介（映像）、角田 寛生（会場音楽）、平曜（照明）、相川 貴（音響協力）、アラキミュ（記録撮影）、染宮 久樹（協力）

### ⑩ 祭りモニュメント

事前にワークショップを行い、近隣の子どもたちと共同で制作した子ども神輿を参加者みんなで担ぎました。ペットボトルやプラ容器などの素材を用いて、アップサイクルした子ども神輿は、親しみやすいデザインで環境負荷について考える機会にもなりました。

日時：10月14日（土）、15日（日）13:00～16:00

会場：黄金町ロックカク

企画したクリエイター：  
稲吉 稔（似て非 works）、渡辺 梓（似て非 works）  
京浜急行電鉄



撮影：工藤 葵

### ⑪ 撮る・見る・話す、私らしさ

初対面の参加者が、話をしながら感じたお互いの人柄や印象をライティングやポージングなどを工夫しながら一枚の写真で表現しました。プロのカメラマンのアドバイスを受けながらの実施だったので、初心者でもわかりやすく、楽しい作品づくりの時間になりました。

日時：10月15日（日）①13:00～、②14:30～、③16:00～

会場：TORULABO Yokohama Bay Studio

企画したクリエイター：  
川崎 順平（THE DARKROOM INTERNATIONAL）  
上甲 尚弘（TORULABO）



撮影：工藤 葵

### ⑫ 創造市

絵画・音楽・写真など、多様なジャンルのクリエイターが集うシェアハウス「ニューヤンキーノタムロバ」で、オリジナル ID カード制作やユニークなポートレート撮影などのコンテンツを実施しました。

日時：10月15日（日）13:00～17:00

会場：ニューヤンキーノタムロバ

企画したクリエイター：  
ニューヤンキーノタムロバ 2 期生  
（チェコ/まっすー/ガス/ふじまゆ/さとくる/すみちゃん/うめ）



撮影：松村 レイチェル

### ⑬ アーキテクト×メッセンジャーライド

横浜の近代建築と芸術不動産を拠点に活躍するクリエイターの拠点を、建築家とメッセンジャーのガイドのもと、サイクリングでめぐりました。横浜が海だった頃の海岸線をなぞりながら、歴史的建築物や橋梁、現代建築の魅力を再確認したツアーとなりました。

日時：10月15日（日）13:00～15:00

企画したクリエイター：



撮影：工藤 葵

中島 翔太 (クリオシティ)  
古谷 洋平 (アトリエドゥウエル)  
池田 直哉 (ike atelier)

#### ⑭ その他

ポッドキャスト「にんげんさんぽ」にて、関内外 OPEN!に参加するクリエイターたちをとりあげたラジオを配信しました。

企画したクリエイター：方瀬りっか (ondesign)

配信回：

- 【安食真】 幹事をつとめるクリエイティブディレクター、アイデアを発酵させる。
- 【姜美宇】 昨年の関内外 open!を転機に町で生きはじめてコミュニティマネージャー。
- 【井上須美】 弘明寺のシェアハウス「ニューヤンキーノタムロバ」でニューヤンキーたちの市場が開かれる。
- 【瀧脇信】 バリスタとシンガーソングライターの出会いで生まれるコーヒーと音楽とワタシが織りなす時間。
- 【稲吉稔】 アーティストが集まり育つ都市横浜を体感してきた芸術家が見てきたもの。
- 【城之内智紀】 人の温もりを表現するゲームクリエイター。
- 【畑洋一郎】 ビジネスパーソンとクリエイターを結ぶもの。YOXO BOX,peatix の畑さん。
- 【工藤葵】 さいこうの一杯に生活を感じ、未経験から突っ走った元看護師、横浜ビール、ライター、フォトグラファターの工藤葵さん

横浜市内に広がる多様な拠点を会場に、異なるジャンルのクリエイターが協働し、オリジナリティあふれるプログラムを多数展開しました。普段見逃しがちな、横浜の町に広がる魅力を紹介することができ、それぞれ趣向を凝らしたプログラムになったことで、非日常感を演出でき、参加者の満足度が高かったです。

### 3. ミナトノアート 2023



撮影：東 玄太

横浜発の“まちなか”アートフェア「ミナトノアート」。3 回目の開催となる今年度は、「ART in LIFE」をテーマに、体験や交流を通して横浜の“アートの今”と出会い・学ぶ機会を届けます。そして横浜のアートシーンの可能性の模索や未来の創出を目指しました。

## 開催概要

開催日：2023年10月21日（土）～11月5日（日）

会場：横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅、旧第一銀行横浜支店、象の鼻テラス、そごう横浜店、横浜高島屋、Art Gallery 山手、岩崎博物館(ゲーテ座記念)、altoyo、CROCO ART FACTORY、ATELIER.K ARTSPACE、art gallery OWL-アウル、gallery fu、LAUNCH PAD GALLERY、plus.m cafe gallery、art Truth、G8DSTAND、1010 美術 1010Art Gallery、GALERIE PARIS、LANDER、横浜グラスルーツ YOKOHAMA Grassroots、みらいチューブ

主催：ミナトノアート実行委員会

共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局

プロデュースチーム：田口 竜太郎（株式会社アマネプロ）、木村 いよ（Atelier fourteen）、大野 愛（かもめぐみ）、小宮山 壮（SO IN THE HOUSE/CAT CULT）、佐藤 航（GardenGrove）、三村 漢（niwa no niwa）、村中 巧

アートディレクション：三村 漢（niwa no niwa）

デザイン：大貫 茜（niwa no niwa）

タイポグラフィ：大原 大次郎

WEBエンジニア：亀谷 晶太郎

協力：AlphaTheta 株式会社、大佛次郎記念館、公益財団法人神奈川県動物愛護協会、相模鉄道株式会社、株式会社少年画報社（ねこぱんち編集部）、象の鼻テラス、そごう横浜店、横浜高速鉄道株式会社、横浜高島屋、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、ヨコハマ猫の美術館

来場者数：のべ 5,500 人（但し①西口のプログラムは計測不可のためのぞく）

### ① 【特別連携】ヨコハマ西口アートプロジェクト 2023

ミューラルアートを描くことをきっかけとし、横浜西口をアートで盛り上げるプロジェクト。10月10日（火）より3組のペインターによるコラボレーションにより壁画アートを制作、10月21日（土）には完成セレモニーを実施しました。完成後、この場所を訪れる人々がポジティブな反応をみせるようになり、西口の新たな景色となっています。

会場：横浜西口・幸川橋周辺

作家：Gravityfree、KensukeTakahashi、LuiseOno

主催：一般社団法人横浜西口エリアマネジメント

後援：横浜市にぎわいスポーツ文化局

企画制作：ガーデングローブ合同会社、ミナトノアート実行委員会



撮影：東 玄太

### ② ミナトノギャラリー巡り

見慣れた街並みから一步踏み込むと、そこには素敵なアート空間が待っている、横浜の魅力を伝える企画として開催。横浜の身近な場所に存在するアートギャラリーやショップ、百貨店などが、「ミナトノアート 2023」にあわせた展覧会を開催。ミナトノアートをきっかけに、横浜のアートシーンに触れ、アーティストやギャラリーオーナーとの出会いが生まれました。

日時：10月21日（土）～11月5日（日）

会場：Art Gallery 山手、岩崎博物館(ゲーテ座記念)、altoyo、CROCO ART FACTORY、ATELIER.K ARTSPACE、art gallery OWL-アウル、gallery fu、LAUNCH PAD GALLERY、plus.m cafe gallery、art Truth、G8DSTAND、1010 美術 1010Art



撮影：東 玄太



Gallery、GALERIE PARIS、LANDER、そごう横浜店、横浜高島屋、横浜グラスルーツ  
-YOKOHAMA Grassroots-

### ③ ミナトノアーティストフェア

独自の感性で作品を生み出し続ける横浜ゆかりの作家を百貨店で紹介しました。インテリアとして気軽に飾れるサイズの作品や、アートグッズを販売し、多くの方にむけて身近にアートを楽しむ機会を届けることができました。

- ・そごう横浜店 6階 美術館通り会場  
日時：2023年10月21日（土）～30日（月）  
作家：北 英明、KIM ISEOL、正木 美香、Liu Ling
- ・そごう横浜店 6階 イベントスペース（海側）会場  
日時：2023年10月24日（火）～30日（月）  
作家：猪本 大介、エモリハルヒコ、襟草 丁  
協力：そごう横浜店
- ・横浜高島屋 7階会場  
日時：2023年10月25日（水）～31日（火）  
作家：珈琲鳥子、吉永 蛍  
協力：横浜高島屋



撮影：東 玄太

### ④ ミナトノファクトリー

横浜の手仕事作家に直接会って話し、ものづくり体験や、作品購入ができるマルシェイベント。「孤高と共鳴」をテーマに、さまざまなアーティストや職人が出展。インスタレーションやワークショップ、ショップが馬車道駅構内いっばいに広がりました。

日時：2023年10月28日（土）、29日（日）  
会場：横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅構内  
協力：横浜高速鉄道株式会社

#### 出店ブース

Apr.アロマサロン、ラテンの宴、Asara、Cacelo、yamatoyakushinji、sui、スタンドグラスおどる虫工房、fragments of the earth、伴治朗、MERAKEI、'SPOONS×SUNZUI'、花染布、atelier Soranite（10/28）、buri、CREA（10/29）、sala mehendi、LivhopE、kotowari livelihood、勾玉セラピスト Leah（りあ）、chovell container（10/28）、KARAKU by me

#### ワークショップブース

Atelier fourteen（10/28）、ikih（10/28）、Bayside Flower Market（10/29）

#### FOOD&DRINK ブース

えんちゃん農場×ハタケユライ、めぐる珈琲、369organic、丘の上にな、シルクロシードル、たかごころ

#### 企画1 パフォーマンスアート”YODAKA NO YORU”

画家3名と音楽家によるYODAKAの共鳴を表現した作品展示、アートパフォーマンス、詩の朗読会。

参加アーティスト：LululuPanSea(画家)、松井 奈穂(絵描き)、須永 社居(日本画家)、TAKUMI M(ビートメイカー)、津村知臣(作曲家、ギタリスト)、綾野 アリス(俳優)

#### 企画2 出展作家によるインスパイア作品の展示

それぞれが思い描く「孤高と共鳴」のテーマ作品が、本イベントの入口となる馬車道駅改札前に展示。

#### 企画3 来場者によるアートワーク制作(ワークショップ)



撮影：東 玄太

子どもも大人も楽しめるワークショップ。小さなよだかに色を塗り、大きな一羽の“YODAKA”を作りました。

**特別企画** 前衛書道家・岩坂典子による大型作品を馬車道駅構内に展示。

### ⑤ ミナトノネコ

港町で身近な猫を題材にした、猫アートイベント。光と音で空間を演出し、大きな猫の立体作品や映像作品を展示しました。トークショー、アーティストブース、ワークショップなど、会場が猫アートでいっぱいの空間になりました。

日時：2023年10月28日（土）、29日（日）

会場：旧第一銀行横浜支店

協力：AlphaTheta 株式会社、大佛次郎記念館、公益財団法人神奈川県動物愛護協会、株式会社少年画報社（ねこばんち編集部）、象の鼻テラス、ヨコハマ猫の美術館



撮影：Kayocompose

### 1 階会場展示

アーティスト渡辺元佳と、小宮山壮による、高さ3.5mの巨大な猫のバルーン状の大型立体作品、猫のごろごろ音、DJとのVisualセッション「ねこ神殿」。小宮山が制作した大佛次郎記念館紹介映像も上映。

### 猫のトークショー

人気猫写真家のトーク、文学、保護猫活動、TNR活動の現状等様々な猫話を聞けるプログラム。登壇者：沖昌之（猫写真家）、金城瑠以（大佛次郎記念館研究室職員）、公益財団法人神奈川県動物愛護協会ほか

### 3 階会場

人気猫写真家沖昌之の作品展示をはじめ、大佛次郎記念館×ねこばんちパネル展示、ヨコハマ猫の美術館紹介、猫耳制作のワークショップ、猫アートやグッズ販売を行いました。

### ⑥ ミナトナフォト

フォトアートディレクター三村漢が主宰する、ハイアマチュアとして活躍する写真愛好家の集まり「写真集団ポップコーン」による写真展。「ミナトナフォト」と銘打ち、ゲストに横浜在住の写真家・鈴木知子を迎え、「横浜」を日常の視点とは違う角度から捉え、この街の素晴らしさ、その本質を再確認する展示を実施しました。

日時：2023年10月30日（月）～11月5日（日）

会場：象の鼻テラス

協力：象の鼻テラス



撮影：東 玄太

### ⑦ 関連イベント ミナトノアート+

Tokyo Gendaiの期間にあわせて、横浜で活動する15組のアーティストがみなとみらい駅「みらいチューブ」に集結。アートやクラフト作品の展示販売、古道具・古着のヴィンテージマルシェ、ワークショップ、DJパフォーマンスなどが行われました。また、東京現代のVIPツアーとして、ギャラリーツアーや金継ぎのワークショップを実施しました。

日時：2023年7月8日（土）

会場：みなとみらい駅みらいチューブ

協力：横浜高速鉄道株式会社





## 連携イベント

### A.YOKOHAMA GOGO DOG FES 2023 AUTUMN

日時：10月21日(土)、22日(日)

場所：臨港パーク

主催：YOKOHAMA GOGO FES 実行委員会/ぴあ株式会社



### B. みなとみらいピアノフェスティバル 2023

日時：10月14日(土)、15日(日)

会場：横浜ランドマークタワーランドマークプラザ1階  
サカタのタネ ガーデンスクエア

主催：Piascore 株式会社

### C. 関内外 OPEN!15

日時：10月14日(土)、15日(日)

主催：関内外クリエイターズ、アーツコミッション・ヨコハマ

### D. ホッチポッチマーケット&ミュージックフェスティバル 2023

日時：【マーケット】11月3日(金・祝)、【ミュージック】4日(土)

会場：象の鼻パーク

主催：ホッチポッチミュージックフェスティバル実行委員会

横浜のまちなかにある身近で手の届くアートや、誰もが気軽に体験できるアートに焦点をあてたプログラムを実施し、多様なアートとの出会いを提案しました。3年目を迎え、身近なアートのイベントとして定着していき、また多くの人々が携わった結果、ミナトノアートを介した新たな人のつながりや、多様な主体とのイベント連携も生まれました。

## 4. 令和の横浜使節団



社会と芸術文化を横断した事業を生み出す、多様な人材の発掘と育成のための新設プログラム。横浜の人々（クリエイター、アーティスト、起業家、企業人、行政職員、学生等）が、地方の都市を訪れ、その地域の取り組みから学ぶ旅をしました。株式会社リビタや信州アーツカウン

シルと協働し、歴史文化・まちづくり・産業・食・アート等多面的な地域との出会いと、そこに携わる人々との交流の場を企画しました。

## 開催概要

### (1) 新潟編

1日目は、新潟市街地のまちづくりの様子を視察しました。新潟駅から「にいがた 2km」のエリアを歩き、各所でクリエイティブなまちづくり・コミュニティづくりの取り組みをされている方のお話を伺いました。2日目は日本有数のニットの生産地・五泉市にて、産業を軸としたブランディング、場づくりを視察しました。

開催日

視察：2023年8月31日(木)～9月1日(金)

振り返り会：10月3日(火)

訪問先

新潟市：MOYORe:、WORKWITH 本町、上古町の百年長屋 SAN、hickory03travelers

五泉市：LOOP&LOOP、ウメダニット・the knit bar、高橋ニット・Milestone

参加者数：11名

主催：株式会社リビタ、アーツコミッション・ヨコハマ



### (2) 信州編

1日目は犀の角を起点に、上田でアートを介したまちづくり、居場所づくりに携わる各拠点のお話を伺いました。2日目は自由行動を基本とし、モデルコースとして上田市の街なかで行われる261(にーろく市)を視察。その後長野市へ移動し「くらしふとカンファレンス 2024」の分科会「まちづくりと共創」と越境/共創ピッチ「〇〇×ゼロカーボン」に参加しました。

開催日

視察：2024年3月1日(金)～3月2日(土)

振り返り会：3月28日(木)

訪問先

上田市：犀の角、上田映劇、NPO 法人リベルテ アトリエ、261

長野市：くらしふとカンファレンス 2024

参加者：18名

主催：アーツコミッション・ヨコハマ、信州アーツカウンスル

協力：株式会社リビタ



使節団メンバーからは、各地の取り組みはとても勉強になり面白かった、自身の横浜での取り組みを客観的にみるきっかけになったという感想が多数寄せられました。旅を通して得た出会いや学び、それぞれのフィールドと結びつけた新たなアイデアなど活発な意見交換が行われました。訪問先からは、活動を他のプレイヤーの方から客観的に評価をしてもらえたことが良かった、他地域のプレイヤーと同じ目線で語る事ができてよかった、という感想をいただきました。



## 5. ACY 感謝祭



撮影：工藤 葵

芸術やデザインを軸に横浜各地で共創、協働を生み出してきたアーツコミッション・ヨコハマが、日頃のご愛顧、ご協力に感謝し、1年間の活動報告と来年度に向けた展望を広く共有するために開催しました。5名のアーティスト・フェローとその受入先となってくださった地域拠点の運営者、ミナトノアートや関内外 OPEN!の企画者、横浜から地方への使節団として一緒に旅した方々に登壇いただきました。また、ACY アーティスト・フェローシップ助成で、アーティスト受入先拠点や、令和の横浜使節団の訪問先で関係ができた方々によるおいしい・たのしいマルシェも開催し、トークと合わせて、各拠点の魅力的な雰囲気をお届けしました。

### 開催概要

日 時：2024年3月20日（水・祝）14:00～18:00

会 場：象の鼻テラス

参加費：無料（マルシェの商品は別途）

参加者数：2170名

### (1) 第一部「アーティストが街にいて見えた風景～アーティスト・フェローシップ助成活動報告～」



撮影：工藤 葵



撮影：工藤 葵

2023年度 ACY アーティスト・フェローシップ助成に採択された5名のアーティストが、横浜各地に滞在しながら展開した活動の報告を行いました。また、滞在した独自の地域活動を行う拠点の方々にも参加いただき、アーティストが身近にいる風景について、話し合いました。

## ① アーティストプレゼンテーション（活動報告）

・2023年度ACYアーティスト・フェロー：

加藤 立（アーティスト）  
坂本 夏海（アーティスト）  
私道 かび（作家、演出家）  
山岡 瑞子（映画作家/アーティスト）  
ユニ・ホン・シャープ（アーティスト）\*オンライン

・コメント（ACYアーティスト・フェローシップ助成 審査員）：

天野 太郎（東京オペラシティアートギャラリー チーフ・キュレーター）  
岡本 純子（公益財団法人セゾン文化財団 シニア・プログラム・オフィサー）  
野上 絹代（振付家・演出家、多摩美術大学美術学部演劇舞踊デザイン学科専任講師）  
藤原 徹平（フジワラテッペイアーキテクトラボ代表、横浜国立大学大学院 Y-GSA 准教授）  
山峰 潤也（キュレーター、株式会社 NYAW 代表取締役）

## ② アーティスト受入先の拠点メンバーによる座談会

熊谷 恵美子（左近山アトリエ 131110）  
黒田 杏菜（Murasaki Penguin Project Totsuka）  
関口 春江（Co-coya）、若林 拓哉（ARUNŌ -Yokohama Shinohara-）  
渡辺 篤（アートスタジオ アイムヒア）  
聞き手：小原 光洋（アーツコミッション・ヨコハマ プログラム・オフィサー）

### (2) 第二部「顔の見えるネットワークづくり、その先へ ～関内外 OPEN!&ミナトノアート座談会～」



撮影：工藤 葵



撮影：工藤 葵

横浜都心に数多くあるクリエイタースタジオやギャラリーなど、創造産業が営まれる場をつなぐ企画（関内外 OPEN!、ミナトノアート）がアートやデザインを生業としている方々によって行われています。ローカルや業界内で顔の見えるネットワークづくりから始まる新たな活動やビジネス、その価値と面白さを知る企画者による座談会です。横浜の街をデザインやアートでもっと面白くしていくには、どうなると良いかを語りあいました。

登壇者：

安食 真（studio nibroll クリエイティブディレクター、関内外 OPEN!幹事）、  
木村 いよ（金継ぎ Atelier fourteen、ミナトノアート実行委員会事務局長）、  
田口 竜太郎（株式会社アマネプロ 代表、寿司職人、ミナトノアート実行委員長）、  
千代田 彩華（オンデザインパートナーズ、関内外 OPEN!幹事）

聞き手：

後藤 清子（株式会社ピクニックルーム 代表）  
杉崎 栄介（アーツコミッション・ヨコハマ プログラム・オフィサー）



### (3) 第三部「都市と田舎、生活と表現のあいだを旅することで見えること ～令和の横浜使節団～」



撮影：工藤 葵



撮影：工藤 葵

今年度から始めた新企画「令和の横浜使節団」。ACY と BUKATSUDO が核となり、横浜の面白いメンバーが集って使節団として新潟、信州の先進的な取組先へ出向きました。そこでの出会いから多くの学びを得て、たくさんの仲間をつくりました。都市と田舎の素晴らしさを相互にリスペクトしあい、そこがつながることで何ができるかを一緒に考え、行動する、そんな使節団に育っていきたいと考えています。

登壇者：

上野 正也（神奈川県大学 建築学部 准教授）

大沢 雄城（建築家）

原田 智子（株式会社リビタ、MOYORe: コミュニケーションマネージャー）

野村 政之（信州アーツカウンシル ゼネラル・コーディネーター）

聞き手：杉崎 栄介（アーツコミッション・ヨコハマ プログラム・オフィサー）

### おいしい・たのしいマルシェ



撮影：工藤 葵



撮影：工藤 葵

日 時：2024年3月20日（水・祝）11:00～18:00

出店者：ARUNŌ -Yokohama Shinohara-、えんちゃん農場×ハタケユライ、shekira、もかいろ工房、焼菓子屋 YONNABAKE、lepo 工房、NPO 法人リベルテ

横浜市の文化芸術創造都市施策の取組の一つとして、主に都心で活動をしていた ACY が、横浜各地、また市外にその活動を広げた一年でした。芸術やデザインを軸に多様な共創・協働を生み出し、表現と地域の双方の可能性が広がり、深まった現場を、携わった方々の声を通して紹介することができました。また感謝祭を通して参加者同士の新たな交流も生まれました。



## 【4】ドックヤードガーデン活用事業（施設名：BUKATSUDO）

ドックヤードガーデン活用事業運営協議会を通じて、参加 5 社（横浜市、三菱地所（株）、三菱地所プロパティマネジメント（株）、（株）リビタ、当財団）で協力し運営しています。

“大人のためのシェアプレイス”をコンセプトに作られた施設は、みなとみらい地区で働く人々の心をつかみ、新たなコミュニティ拠点へと成長しています。コロナ禍を経て、町のソフトインフラとしての役割を担うようになっていきます。2024 年 5 月で現行契約満了となるため、継続運営について協議会を通じてリビタ社と交渉、その道筋をつくる 1 年となりました。

## 【5】情報発信

### （1）横浜市クリエイターデータベースの運営

ACY の活動の成果として、都心臨海部に集積するアーティストやクリエイターの力を市内の事業に繋ぎ、さらに横浜の魅力を生み出し発信していくことを趣旨に、グラフィックや WEB 等のデザインに関わるクリエイターのプロモーションのための検索・紹介機能に優れたサイト「横浜市クリエイターデータベース」の運用を行っています。

#### 概要

名称：横浜市クリエイターデータベース

URL：<https://acy.yafjp.org/creatorsdatabase/>

内容：クリエイターの制作事例、得意分野、会社概要を紹介するページで構成されたサイト。

今年度、ユーザビリティ向上のため、問い合わせ箇所の見やすさの改修を行っています。

登録者数：82 組（うち今年度 6 組、市外移転に伴う登録解除 4 組、前年 80 組）

登録者：グラフィック、WEB、映像、写真、イラスト等、クライアントワークを行っているデザイナー、もしくはその方が代表者を務める法人等。

利用者想定：企業、行政各部署、NPO 等

2023 年度アクセス数：**181,019**（前年 **207,620**）

### （2）アーツコミッション・ヨコハマ ウェブサイト

URL：<https://acy.yafjp.org/>

2023 年度サイトアクセス数：**1,322,156**（前年度 **1,060,893**）

今年度、ユーザビリティ向上のための全体の表示の改修、マイナーチェンジをはかっています。

## 【6】WEB アートイベントカレンダー「ヨコハマ・アートナビ」運営業務

<実施時期>	令和5年4月1日から令和6年3月31日																
<サイトおよびSNS>	公式ウェブサイト : <a href="https://artnavi.yokohama/">https://artnavi.yokohama/</a> 公式X (旧Twitter) : <a href="https://twitter.com/art_yokohama">https://twitter.com/art_yokohama</a> 公式Instagram : <a href="https://www.instagram.com/art_yokohama/">https://www.instagram.com/art_yokohama/</a>																
<実施内容>	<p>今年度は、安心安全なサイト運営を基本としつつ、子ども向けイベント、街中イベント、SNS発信の強化を掲げて以下を実施した結果、すべての数値が昨年度より向上しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向け「特集」ページを開設し、夏(7/19-8/31)と冬(11/30-1/15)に「子ども特集」を実施</li> <li>・街中イベントに出逢いやすくなるような検索項目の改修をし、秋以降Instagram等でPR展開</li> <li>・6月以降Instagramでの本格的な発信、適宜、横浜市公式SNS等でのバナー掲出などを実施</li> </ul> <p>* 閲覧者アクセス解析</p> <p>ユニバーサルアナリティクスからGoogleアナリティクス4へ移行し、ページビュー数やユーザー数について、単純な過去比較が難しくなっています。</p> <p>=====</p> <p>1 「ヨコハマ・アートナビ」の運用【別紙①】</p> <p>① 横浜市内で開催される「アートイベント」：情報の収集・掲載・管理</p> <table> <tr> <td>アートイベント情報数</td> <td>2,176 (前年度2,027)</td> </tr> <tr> <td>・うち、新設の「地域・まちづくり」情報数</td> <td>71 (10/2-3/31)</td> </tr> <tr> <td>・うち、新設の「フェスティバル」情報数</td> <td>37 (11/30-3/31)</td> </tr> <tr> <td>アートイベント新規登録者数</td> <td>128 (前年度111)</td> </tr> </table> <p>② 横浜市内の「アートスポット」：情報の収集・掲載・管理</p> <table> <tr> <td>アートスポット掲載数</td> <td>205 (前年度203)</td> </tr> </table> <p>③ アートイベントのうち子ども向けイベントの「特集」：情報の収集・掲載・管理</p> <table> <tr> <td>アートイベント情報数</td> <td>夏(7/19-8/31) : 310、冬(11/30-1/15) : 228</td> </tr> </table> <p>2 同サイトの管理</p> <p>① システム (ワードプレス) 運用・保守：不具合等なく、運用しました。</p> <p>② サーバー、ドメイン、SSLの運用・保守：不具合等なく、運用しました。</p> <p>③ 閲覧者アクセス解析 【別紙②】</p> <table> <tr> <td>ページビュー数(PV)</td> <td>674,468 (前年度461,576)</td> </tr> <tr> <td>ユーザー数(UU)</td> <td>245,157 (前年度184,558)</td> </tr> </table> <p>④ サイト改修 【別紙③】</p> <p>3 同サイトの周知 (広報・広告)【別紙④および別紙⑤】</p>	アートイベント情報数	2,176 (前年度2,027)	・うち、新設の「地域・まちづくり」情報数	71 (10/2-3/31)	・うち、新設の「フェスティバル」情報数	37 (11/30-3/31)	アートイベント新規登録者数	128 (前年度111)	アートスポット掲載数	205 (前年度203)	アートイベント情報数	夏(7/19-8/31) : 310、冬(11/30-1/15) : 228	ページビュー数(PV)	674,468 (前年度461,576)	ユーザー数(UU)	245,157 (前年度184,558)
アートイベント情報数	2,176 (前年度2,027)																
・うち、新設の「地域・まちづくり」情報数	71 (10/2-3/31)																
・うち、新設の「フェスティバル」情報数	37 (11/30-3/31)																
アートイベント新規登録者数	128 (前年度111)																
アートスポット掲載数	205 (前年度203)																
アートイベント情報数	夏(7/19-8/31) : 310、冬(11/30-1/15) : 228																
ページビュー数(PV)	674,468 (前年度461,576)																
ユーザー数(UU)	245,157 (前年度184,558)																

別紙① ヨコハマ・アートナビ アクセス数・SNS 利用状況

サイト本体 ※Google Analyticsのデータ

月	ページビュー数		ユーザー数 (閲覧者)		イベント情報 新規掲載数		イベント登録ID申請新規件数	
	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)
4月	39,723	30,512	15,407	12,652	190	188	10	8
5月	44,531	38,242	16,296	15,917	179	164	11	11
6月	44,551	35,158	15,282	13,806	202	139	17	12
7月	89,189	37,207	25,063	14,346	197	184	8	7
8月	83,565	44,420	26,259	16,739	210	221	11	10
9月	45,358	44,584	17,318	17,367	186	202	11	9
10月	48,166	45,718	18,585	18,366	218	132	16	10
11月	45,520	40,856	18,854	16,405	168	177	6	12
12月	92,538	31,486	33,723	13,107	147	140	4	6
1月	52,213	37,111	21,009	14,488	166	172	12	10
2月	39,671	38,358	16,765	15,358	160	153	12	9
3月	49,443	37,924	20,596	16,007	153	190	10	7
合計	674,468	461,576	245,157	184,558	2,176	2,062	128	111

X (旧Twitter) ※令和1年度8月運用開始 ※インプレッション数=Twitterのアカウントを持つユーザーに表示された回数

月	ツイート数		インプレッション数 (表示)		新規フォロワー		Twitterからの サイト流入 ユーザー数 (R5)
	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	
4月	119	137	51,113	53,092	3	24	329
5月	129	121	84,138	70,623	9	32	351
6月	181	124	73,545	65,118	15	29	350
7月	168	163	95,470	91,249	19	38	510
8月	141	162	79,042	73,871	32	42	296
9月	137	151	62,224	86,223	17	42	389
10月	173	121	82,875	92,951	18	37	386
11月	135	136	56,060	88,600	-	27	293
12月	104	128	29,243	61,888	-	19	316
1月	126	122	47,435	74,011	-	17	665
2月	115	139	61,367	70,929	-	17	367
3月	124	107	47,061	76,509	-	26	229
合計	1,652	1,611	769,573	905,064	113	350	4,481

Instagram ※令和1年度8月運用開始

月	投稿数		新規投稿へのいいね		新規フォロワー		流入数
	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)	前年度 (R4)	今年度 (R5)
4月	0	0	4	0	0	0	21
5月	0	0	0	0	12	0	15
6月	67	0	167	0	20	0	18
7月	59	5	252	49	98	24	458
8月	57	8	159	36	187	9	1,482
9月	89	4	131	56	7	9	42
10月	95	4	236	51	0	14	29
11月	203	8	285	110	11	14	68
12月	146	12	326	134	260	9	12,167
1月	126	7	415	92	214	8	3,250
2月	149	4	366	73	4	13	92
3月	87	5	201	25	14	6	126
合計	1,078	57	2,542	626	827	106	17,768

## 別紙② 閲覧者アクセス解析

ヨコハマアートナビ 令和5年度報告書(2023年4月1日～2024年3月31日集計分)

### ページビュー(PV)数

674,468 人 前年 461,576  
前年比 146.1%

### ユーザー数(閲覧者)

245,157 人 前年 184,558  
前年比 132.8%

### イベント情報 新規掲載数

2,176 件 前年 2,037  
前年比 106.8%

### ページ別PV数 TOP10

タイトル	PV数
1 トップページ	81,745
2 特集ページ:トップ	13,113
3 アートスポット:横浜美術館	9,902
4 アートイベント:トップページ	9,853
5 アートイベント:音楽	9,114
6 エリア:みなとみらい	7,304
7 アートイベント:検索ページ	7,206
8 特集ページ:つくる	7,108
9 アートイベント:美術	5,730
10 アートイベント:写真・映像	4,443

### アクセス元の地域 TOP10

アクセス元の地域	ユーザー数
1 横浜市	64,422
2 not set	59,713
3 川崎	6,107
4 大阪	5,339
5 新宿区	5,040
6 港区	4,123
7 千代田区	3,699
8 渋谷区	3,222
9 埼玉	2,931
10 藤沢	2,514

### ブラウザの種類 TOP10

ブラウザ	デバイス	ユーザー数
1 Safari	mobile	77,033
2 Google Chrome	mobile	50,352
3 Safari	mobile	37,667
4 Google Chrome	desktop	25,198
5 Edge	desktop	16,610
6 Android Webview	mobile	14,624
7 Safari	desktop	9,306
8 Firefox	desktop	2,560
9 Safari	tablet	2,169
10 Chrome	tablet	1,820

### 検索キーワード(Google) TOP10

検索キーワード	クリック数
1 横浜 美術館	3,959
2 横浜美術館 スケジュール2024	2,146
3 横浜 アート	1,862
4 横浜美術館	1,842
5 横浜 展示	1,542
6 みなとみらい アート展	883
7 横浜アートナビ	856
8 沖香菜子 夫	789
9 ヨコハマアートナビ	676
10 横浜 展覧会	626

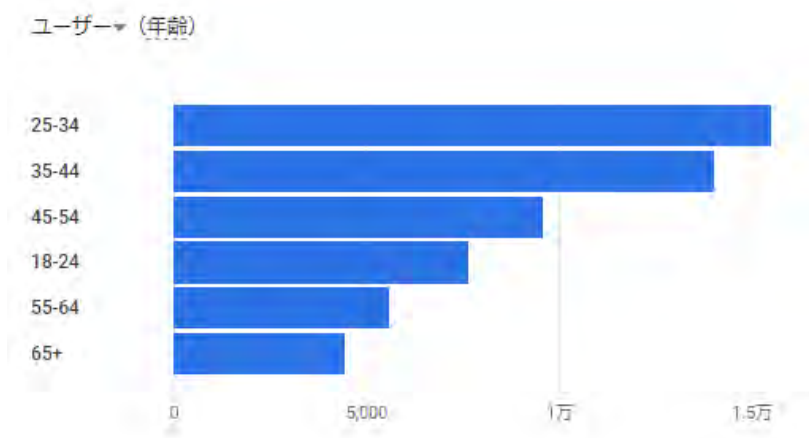
### 流入元サイト TOP10

セッションの参照元/メディア	ユーザー数
1 Googleの自然検索経由	121,475
2 Yahooの自然検索経由	42,279
3 URL直接入力か計測できず経路不明	36,066
4 Instagram広告経由	15,049
5 X(旧Twitter)からの自然検索経由	4,359
6 bingからの自然検索経由	3,383
7 ドコモdMenuからのリンク経由	2,323
8 あそびいからのリンク経由	2,264
9 横浜市役所サイトからの自然検索経由	2,070
10 Instagramからの自然検索経由	1,792



別紙② 参考) 閲覧者アクセス解析 年齢別UU数

◆ UU 数 (年齢別)

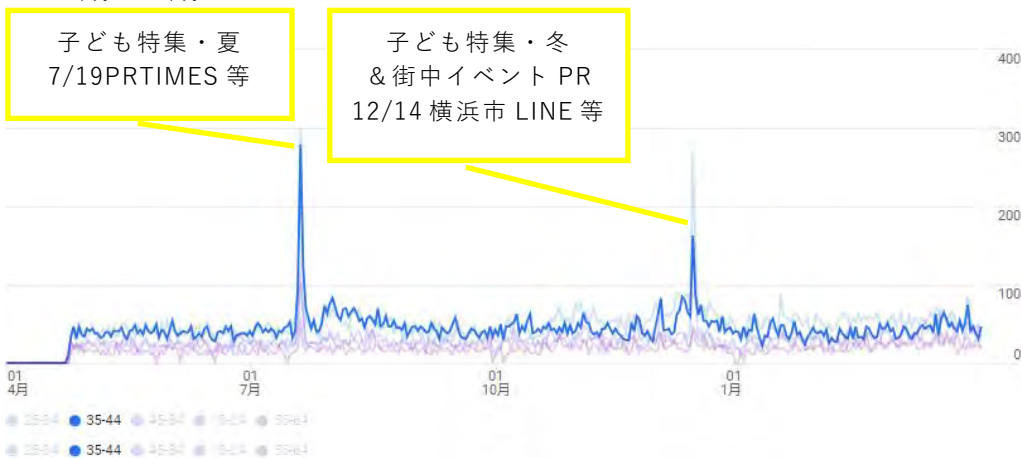


◆ UU 数 (年齢別 (25 歳-34 歳および 35 歳-44 歳)・月別)

・ 25 歳-34 歳



・ 35 歳-44 歳





別紙③ サイト改修

実施月	実施概要
7月	<p>◇7/19子ども向け「特集」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOPページグローバルナビゲーション：「フェス+」を「特集」に改修</li> <li>・TOPページ：特集バナーを設置</li> <li>・「特集」ページ：子ども向けアートイベントを「みる」「きく」などのカテゴリー毎に表示</li> </ul>  
10-11月	<p>◇街中イベントPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/2 アートイベント検索「地域・まちづくり」追加</li> <li>・11/30 アートイベント検索で「タイプ」を新設し「フェスティバル」等追加</li> </ul> 

**別紙④ 周知（広報・広告）**

実施月	実施概要
5月	登録者に、登録者ウェブサイトとアートナビとの相互リンクの勧奨
6月	原則、すべてのアートイベントをInstagramで発信開始
7-8月	<p>◇夏の子ども向け「特集」PR</p> <p>①記者発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/19 市政記者発表</li> <li>・7/19 PRTIMES発出：<a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000990.000014302.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000990.000014302.html</a></li> </ul> <p>②バナー掲出</p> <p>(広報)・7/19-8/31 横浜観光コンベンション・ビューローウェブサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/20 横浜市公式LINE</li> </ul> <p>(広告)・7/19-8/31 あそびい 横浜</p> <p>③SNS広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/28-8/26 Instagram広告（静止画）30日間</li> </ul>
10-3月	<p>◇創造界隈拠点の街中イベントを中心にInstagram PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/13-3/31 Instagramのストーリーズ、リポスト機能を活用した投稿開始</li> <li>・11/16-3/31 Instagramのストーリーズでハイライト投稿開始</li> <li>・2/7-3/15 Instagramで一つのイベントを時間軸でストーリーズに投稿しリール動画化</li> </ul> 
11-1月	<p>◇街中イベントPRおよび冬の子ども向け「特集」PR</p> <p>①記者発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/30 市政記者発表</li> <li>・11/30 PRTIMES発出：<a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001045.000014302.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001045.000014302.html</a></li> </ul> <p>②バナー掲出（広報）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/30-1/15 横浜観光コンベンション・ビューローウェブサイト</li> <li>・12/14 横浜市公式LINE、X、SmartNews</li> </ul> <p>③バナー掲出（広告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/30-1/15 あそびい 横浜</li> </ul> <p>④SNS広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/7-1/7 Instagram広告（静止画）</li> </ul>
1月	登録者へのアンケート送付時に、相互リンクの再度勧奨
*参考：制作バナー	<p>夏の子ども向け「特集」      冬の子ども向け「特集」      街中イベントPR</p> 

別紙⑤ 参考) 主な周知 (広報・広告) とページ別 PV

◆子ども特集：7月改修・夏(7/19-8/31)および冬(11/30-1/15)に施策実施



◆街中イベントPR：10-11月改修・10月以降にPR施策実施

